

4月から「二学期制」がスタートします

宇城市教育指針「知性あふれ、個性に満ち、国際感覚をそなえ『強くて優しい』児童生徒の育成」を実現するために、児童生徒の学力充実と教職員の意識改革を目指して4月1日から二学期制を実施します。 問合せ先 学校教育課 ☎33-0960

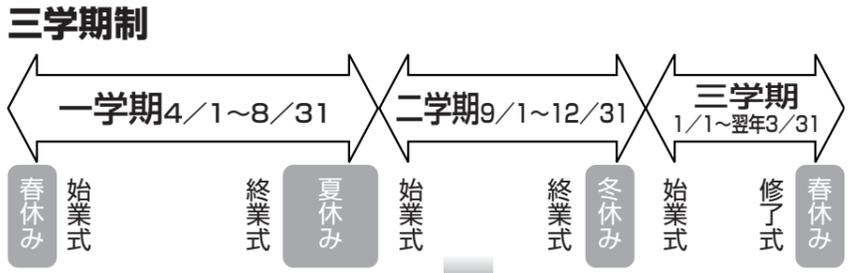
「二学期制」とは

現在、市内の小中学校では、1年間を3つの学期に分けた三学期制で学習が進められていますが、二学期制では、それが前期・後期の2つに分けられ、「秋休み（秋季休業日）」ができます。

二学期制の年間日程

前期	4月1日～10月第2水曜日
後期	10月第2木曜日～翌年3月31日
学年始休業日（春休み）	4月1日～7日
夏季休業日（夏休み）	7月21日～8月29日
秋季休業日（秋休み）	体育の日（10月第2月曜日）の前々日から5日間
冬季休業日（冬休み）	12月25日～翌年1月7日
学年末休業日（春休み）	3月27日～31日

※春休みと冬休みの日数はこれまでと同じです。
 ※秋休みの分、夏休みの日数が減るので授業日数は、今までと変わりません。
 ※始業式・終業式の回数減などで授業時数は増えます。小学校は多くて5.6時間、中学校は最大15時間程度、増える予定です（現在、策定中）。



平成19年度は10月6日～10日

なぜ二学期制を導入するのか

三学期制では次の理由で「ゆとり」を確保することが難しい状況でした。
 ○各学期終了後に長期休業に入り、学習の連続性が途絶える
 ○長期休業前が慌ただしく、授業にじっくり取り組めない
 二学期制を導入すると授業の進め方など教育活動全般を見直すので、ゆとりを生み出すことができます。長期的視点で学習指導を計画でき、じっくりと学べる授業が行われるようになります。
 また、もう一つの大きな効果として学力向上があります。ゆとりができることで先生たちはこれまで以上に子どもたちと触れ合え、きめ細かな評価と指導ができます。

二学期制を導入するまで

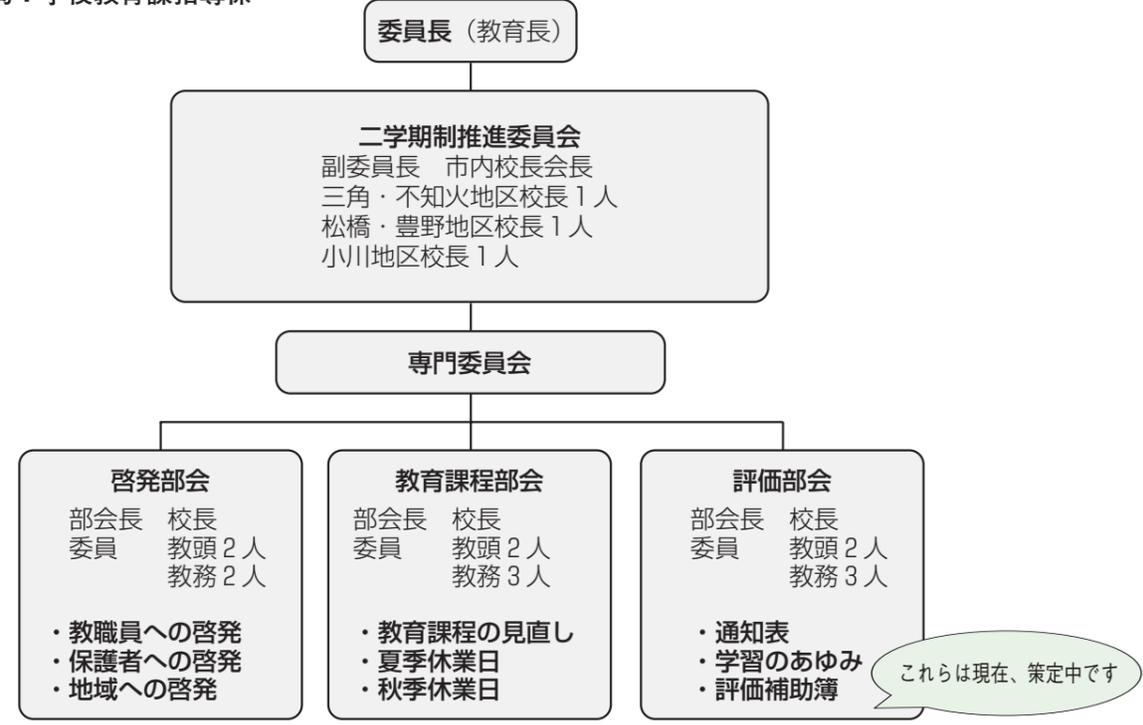
宇城市教育委員会では、二学期制推進のための組織である「二学期制推進委員会」を平成18年に立ち上げて会議を重ね、平成19年4月1日から導入することを決めました。これにより、市内すべての小中学校で同時に二学期制が始まることとなります。
 今後、指導体制の見直しや指導方法の工夫、長い学期を活用した教育計画への改善などを一層進めていきます。

特集 二学期制

平成17年	教育委員会内で二学期制を提案・検討会議 宮崎市の先進校を視察 情報収集
平成18年	二学期制推進委員会と専門委員会を発足 (部会ごとに月2、3回の会議を開催し、 毎月1回、全体の定例会を開催) 教師向けの啓発資料を配布
平成19年1月	保護者向けの啓発資料を配布 校区単位で説明会を開催（～2月1日）
4月	全小中学校で二学期制を実施

二学期制推進のための組織

事務局：学校教育課指導係



全国的に増える二学期制の導入

全国で、二学期制を導入する学校や地域が増えています。札幌市、仙台市、金沢市、横浜市、豊橋市、大阪市、東広島市、那覇市、浦添市。九州では佐世保市、宮崎市、福岡県の須恵町、志免町などです。熊本県では、産山村と大津町、南小国町、天草市の一部で実施されており、今後も実施の割合は増える予想されています。
 次に示すのは、3年前から二学期制に取り組み、定着している先進校、産山村立山鹿小学校の保護者と教師の声です。



子どもにとっても振り返りの機会が多く用意されるようになったことで、学習をやり直すことが当たり前になり、その時には理解できなくても「いつかはできる」と考え、あきらめなくなったように感じます。



子どもに、心のゆとりと新しいことにチャレンジする精神が生まれたように思います。学期末のバタバタが2回に減り、じっくりと学習ができたようです。先生方には新しい取り組みで大変だと思いますが、子どもたちが伸びていけるようでうれしいです。